

地域ミライとーく REPORT



第6次関市総合計画の策定に向けて

関市長と
地域のミライを語ろう

開催目的

市長が第5次総合計画（平成30～令和9年度）の進捗を説明するとともに、地域の皆様から、地域の夢や未来に残したいもの、地域の課題などについて直接お伺いし、令和10年度にスタートする次期総合計画の参考にすることを目的に開催しました。

開催日時・対象地域・場所

日にち	時 間	対象地域	場 所
11月8日(土)	午後7時～8時	富岡・桜ヶ丘	富岡ふれあいセンター 多目的ホール
15日(土)	午後1時30分～2時30分	千疋・小金田・保戸島	西部ふれあいセンター 多目的室
	午後7時～8時	富野	富野ふれあいセンター 大会議室
18日(火)	午後7時～8時	瀬尻・広見	鮎之瀬ふれあいセンター 大会議室
21日(金)	午後7時～8時	下有知	下有知ふれあいセンター 会議室
22日(土)	午後1時30分～2時30分	洞戸・板取	洞戸ふれあいセンター 多目的室
	午後7時～8時	倉知	倉知ふれあいセンター ホール
23日(日)	午後1時30分～2時30分	武芸川	武芸川生涯学習センター 研修室1、2
	午後7時～8時	田原	田原ふれあいセンター 大ホール
24日(月)	午後1時30分～2時30分	武儀・上之保	武儀生涯学習センター 多目的ホール
	午後7時～8時	安桜・旭ヶ丘	わかくさ・プラザ学習情報館 多目的ホール

第5次総合計画進捗状況の説明資料

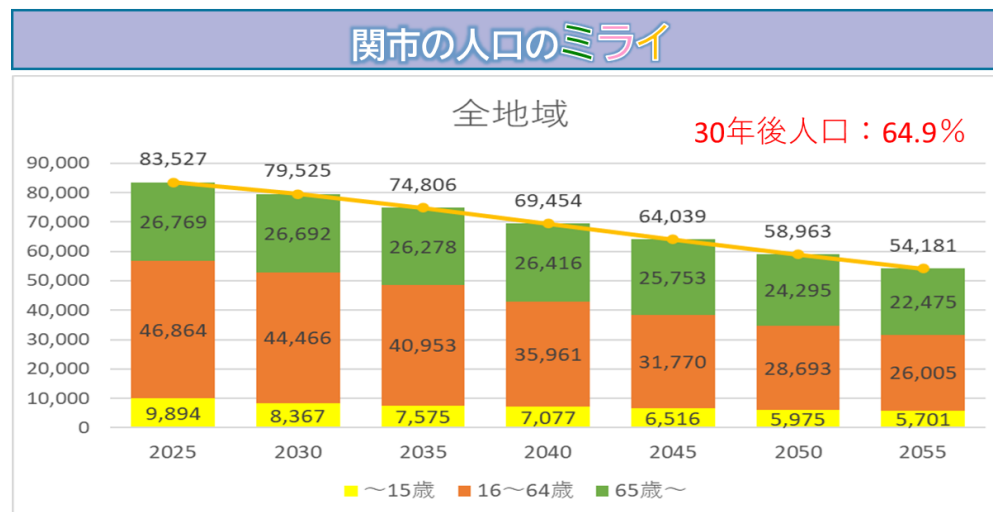
第5次関市総合計画 後期基本計画「3つの視点」の主な施策			
「人」を豊かに	健康福祉子育て	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯現役プロジェクト「アクティブGメン♪75」 ○富岡保育園と留守家庭児童教室を複合化 ○18歳まで医療費無償化 ○保育園・幼稚園の給食費無償化 ○わかくさ老人福祉センター（あいづち）のリニューアル 	「暮らし」を豊かに
	教育	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校体育館に空調設備を整備 ○地産品を利用した給食の提供 ○留守家庭児童教室の整備 ○校内フリースクールの設置、ICTを活用した教育環境の整備 	
「まち」を豊かに	地域づくり協働	<ul style="list-style-type: none"> ○全地域で地域委員会の設置 ○市長とミライとーく、移動市長室 ○婚活イベント、婚活セミナー ○サイクルツーリング ○せきデジスタ9 ○地域宝磨き上げ事業（椎茸栽培後継者育成、高澤古道整備、城山整備） 	<div> <div> <div>防災生活環境</div> <ul style="list-style-type: none"> ○防災基本条例の制定 ○防犯設備の設置助成（防犯カメラ・防犯機能付き電話導入補助） ○防災フェアの実施 ○カーボンニュートラル関係補助（太陽光発電設備設置、省エネ家電補助、省エネ住宅補助） </div> <div> <div>都市基盤整備 上下水道</div> <ul style="list-style-type: none"> ○土地区画整理事業 ○公共交通（長良川鉄道、シティバスなど） ○都市間道路（岐阜東バイパス、国道418・248・256の整備促進） ○都市計画道路（倉知一ノ門・東山西田原線、稲河交差点改良） ○重要管路施設の更新（病院、避難所等） </div> </div>
	産業経済雇用	<ul style="list-style-type: none"> ○奨学金返還支援補助金で企業と若者を支援 ○オーガニックな産地づくりの推進 ○せきファンクラブの新設 ○有害鳥獣対策 ○創業支援事業（セキビズ・ビジネスプランコンテスト） ○津保川花火大会、上之保ゆず祭り 	

これからの関市（あなたの地域では）・・・

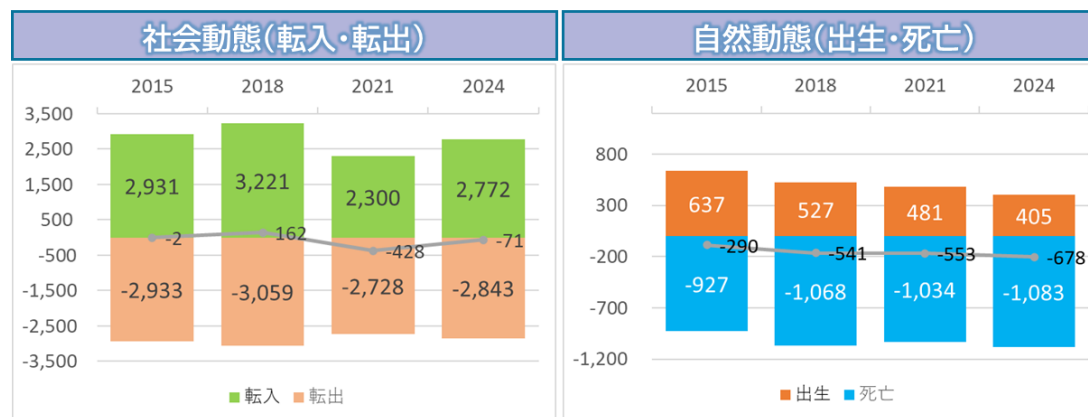


関市の人口ミライ（人口推計）説明資料

関市人口推計



人口増減の主な理由



地域の人口ミライ（人口推計）説明資料



対象地域別・参加者数

地域名	参加者数	男	女	20～30	40～50	60～70	80～90
富岡・桜ヶ丘	30	20	10	1	5	24	0
千足・小金田・保戸島	52	51	1	0	3	48	1
富野	26	20	6	1	6	19	0
瀬尻・広見	22	21	1	1	2	19	0
下有知	37	34	3	3	6	27	1
洞戸・板取	29	24	5	2	6	20	1
倉知	39	24	15	3	12	23	1
武芸川	42	30	12	2	7	29	4
田原	39	33	6	1	3	34	1
武儀・上之保	28	25	3	1	5	22	0
安桜・旭ヶ丘	16	11	5	2	4	7	3
全地域の計	360	293	67	17	59	272	12

富岡・桜ヶ丘地域のみなさんからの意見



- 防犯カメラを自治会で設置することはなかなか困難であると感じます。また、防犯カメラをネットワーク化し一元管理をすることは、事件・事故発生時に市と警察が連携でき、迅速な対応につながると考えます。
- 富岡地域でもイノシシが出没するようになっていました。また、最近の熊による被害などを考えると、有害鳥獣を住民が発見した情報についても、即時データ化され、マップで表示されるような仕組みがあると有益に感じます。
- 近年の夏の猛暑に対応するため、日陰で安全に遊べる場所が必要と考えます。例えば空き地や公園などを活用して、山県市の四国の森公園のような屋根付きの遊び場を整備する必要があると考えます。また、このような施設は、イベントや避難場所としても活用可能であると考えます。
- 平賀公民センターで高齢者の見守り活動（運動カフェと見守りをメインとした活動）を実施していますが、令和8年3月に閉鎖されることを最近知らされ、活動の場所の確保に困っています。公民センター取壊しまでの間、平賀公民センターでの活動を継続させて欲しい。
- 桜ヶ丘地域で本年実施した防災訓練により、一時避難所である弥生公園まで避難することが困難な状況にある人がいることが判明しました。地域内には空き地を利用し地域独自の避難場所を検討したいと考えています。
- 市営住宅への入居者に外国人が多い。役員を当てられないため、日本人への負担が大きくなる。自治会解散の話も出ている。

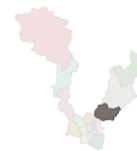


千疋・小金田・保戸島地域のみなさんからの意見



- 千疋北公民センターについて、譲渡の判断をしたものの、この先の維持費や将来の取壊し費用の負担を心配しています。今一度自治会において譲渡または廃止を判断したいと考えています。
- 植野地域から小学校までの通学距離が3キロと長く、特に低学年の児童にとって負担が大きいと思っています。また、下校が遅くなると街路灯が少なく、安全面に不安があるため、コミュニティバスを通学に使えるようにして欲しい。
- シティバスの千疋線は西部支所や小金田診療所、あずま整形外科へのバス停がなく不便な状況にあります。例えば、小金田線のルートの一部経由するとこれらが解決すると思いますので検討いただきたい。
(小屋名追分→中島→千疋大橋左折→リバーサイド→小金田診療所→あずま整形外科→保戸島)
- 近隣で空き家が多く発生し、将来的に特定空家になる可能性があります。と思っています。特定空家について地域としてどこまで対策ができるのか、地域と市の役割分担を明確にする必要があります。
- 地域から若者の都会への流出が止まらない状況にあります。例えばリモートワークができるようなスペースなど、都会の仕事が地域でも可能となるような取り組みが必要と考えます。
- 避難所において停電時でもスマートフォンや空調が利用できるように発電機の設置が必要であると考えます。





富野地域のみなさんからの意見

- 令和9年度に受け入れ開始が予定されている「富野小学校小規模特認校」について、地域としても最大限協力したいと考えています。
- 東海環状自動車道と東海北陸自動車道の結節点として、関市には大きなメリットがあると考えています。テクノハイランドにスマートインターを設置すると東海環状の有効性がさらに高まると考えます。中濃病院と岐大病院の連携も進められるのでは。
- 市内の病院や福祉施設、特別支援学校など様々な場所で看護師が不足していると感じています。例えば給付型の奨学金制度など、看護師が関市の医療や福祉施設等を選択されるような施策を実施する必要があると考えます。
- 小規模特認校は教育委員会が地域と学校のコーディネート役となることを期待します。子どもたちに多様な学びの選択肢があることは市にとってもメリットであると考えます。
- 小学校低学年の体が未熟なうちに教科書とタブレットをランドセルに入れて登下校することは大きな負担であります。小学校1～3年生はタブレットを持ち帰ることは必要ないと考えます。高校生のタブレット購入も保護者負担は大きいです。
- 小規模特認校につきまして地域は協力する意欲はあるが、先生の働き方改革で色々提案しても実現が難しいと感じます。子ども達が今後もよい学びができる地域となることを期待し、地域も協力していきたいと考えています。
- 市役所に地域と子どもの環境をよくする部署を新設することで、高齢者が地域や子どものために頑張りたいという想いと活動とが繋がると考えます。
- 自然豊かな良い富野地域を市外にも発信したい。





瀬尻・広見地域のみなさんからの意見

- 地域では高齢者が主に農業を行っているが、5年もすると農業生産法人に頼らざるを得なくなる。現状の農地は狭く、水路も悪化しているため再整備が必要と考えます。
- 地域に外国人が増えてきているが、日本語が話せないため共生が難しいと感じます。外国人に対する日本語教育の充実を求めます。
- ビジネスプランコンテストの取り組みに共感します。この取り組みを市外にPRすることは移住定住に効果的なのではと感じます。具体的にはマスコミを巻き込んで、できる限り大々的に広報して欲しいと考えます。
- 広見地域には安全に遊べる公園がない（山際にあるがマムシ危険の看板あり）ので、芝生があり幼児から高学年まで遊ぶことのできる公園が必要であると考えます。（別地区の住宅地にある公園はボール遊びができない、大声が出せない、駐車場がない）
- 広見地区は高速道路からのアクセスはよいが、イベント等で人が集まっても、立ち寄る場所がないのが現状です。カフェなどを誘致し、おしゃれな街になることを期待しています。
- この地域への企業の進出はうれしいが、反面、旧道の交通量が増えることが心配です。特に自転車通学の中学生が安心して通学できるような道路整備を求めます。また、池尻旧道の街灯が少なく暗いため、通学時が心配です。
- サンダヤ手前の合流地点は非常に混雑し、酷いときは1回の信号で1台しか左折することができない状況にあります。混雑解消対策を望みます。
- 小学校高学年になるとアシスタント教員の不足から、支援学級に移ることを求められた。例えばGメンなどを活用して、アシスタントできる人を確保し、子どもが安心して学校生活を送れるようにして欲しい。
- 人口減少により地域委員会の担い手不足が深刻化すると予測しています。今の地域委員会は20～30年ほど前に都市部で成功した事例を導入したもののと思いますが、今後も成り立っていくとは考えにくい状況にあります。例えば法人化など地域委員会の次の手段を検討する時期に来ていると感じています。
- 雨の日、登校時のバスには、広見（唐橋、北山）から高校生が多く乗り席を取ってしまうため、小学生が座れず立っているため心配。





下有知地域のみなさんからの意見

- 旧ロジスティクスとして購入した土地の活用について検討する必要があると考えます。
- 下有知地域は長良川鉄道の将来性も考慮すると、公共交通の空白地域になっていると感じます。
- 関市には小瀬鶉飼・弥勒寺のほかに重竹遺跡が存在します。小瀬鶉飼、弥勒寺遺跡群という冊子に重竹遺跡も写っているので、冊子の中で紹介する必要があると考えます。
- 長良川SAから鮎之瀬橋まで続く遊歩道（現在通行止めとなっている）を整備し、通行可能とすることで長良川SA利用者が弥勒寺遺跡や円空記念館に徒歩でアクセスできるようになると考えます。
- 長良川鉄道の駅を起点に安桜山、善光寺、市役所、図書館、SAへとつなぐウォーキングコースを設定すると長良川鉄道の利用促進につながると考えます。
- 地域内の土地開発が進み、大雨が降ると車庫や倉庫、避難所となっている下有知中学校グラウンドに浸水することがあります。地域全体の水利を考慮しながら総合的な排水対策を望みます。
- 総合計画の策定にあたり、周辺都市との広域連携も視野に事業を計画する必要があると考えます、このことは、限られた財源を効果的に使うことにつながります。ふるさと納税制度もいつまで続くか分からないので、いま先行投資が大切だと思います。
- 次期総合計画で最も優先すべき分野は、災害対策と防災、その次が教育であると考えます。
- 健康であり続けるためには、体力作りが一番大事であると思います。例えば赤池周辺に記念樹を植えられるような取り組みをするとウォーキングに取り組む人が増えると考えます。
- 本町商店街の活性化提案。昭和にタイムスリップしたような雰囲気イベントを開催してほしい。





洞戸・板取地域のみなさんからの意見

- 板取川でのバーベキューが盛んに行われているが、臭いやゴミ、騒音により周辺住民に影響が出ている。バーベキューを禁止する条例の制定を求めます。
- 市が地域に対し助言する専門部署を設けて欲しいと考えます。また、地域懇談会や福祉懇談会など団体と相談ができる機会を多く設けるとともに、そこで出た良案には予算が付くことを前提に構築されたい。
- 本年7月から8月にかけて水難事故により3名の方が死亡、救助要請が18件あった。飲酒後に川に入るケースもあり水難事故が起こりやすいと考えます。また、ごみのポイ捨てや敷地への侵入やブルーベリーを勝手に取るなども発生しており、治安が悪化していると感じます。バーベキュー禁止条例を制定し、ルールある河川利用を促進する必要があると考えます。
- 廃園になった保育園、廃校になった小学校や中学校がそのままになっています。壊してしまうのはもったいないと考えますので、例えばスポーツ振興や移住、高齢者施設など人のために活用できる施設への転換を検討すべきと考えます。
- 人口の少ない地域にとっては、公民センターや地区集会場の運営が難しく、このままでは活動の場を失ってしまうことなのでは...と不安を感じます。働く場がなくなるなど、地域をおきざりにしないよう考えてほしい。
- 少子化対策として、市営住宅の入居要件を緩和し、より多くの人が入居できるようにしてください。
- 洞戸老人福祉センターを土日でも利用ができるようにし、例えば子どもの居場所として活用して欲しい。
- 現在の道の駅の立地が車の通りの少ないところにあるため、新たな道の駅を洞戸事務所前の信号から板取に向う側に新設する方が効果的であると考えます。
- デジスタ9など登山をとおして、蕪山や高賀山の山岳信仰について触れられる取り組みを検討して欲しい。
- 本年の豪雪による長期の停電を経験した。小水力発電で発電される電気を売電のみでなく、地域で使えるようにすると地域の防災力がより高まります。
- 災害で孤立した場合にも情報を入手することができるよう、スターリンクのような衛生通信可能なシステムを地域事務所や避難所へ設置されることを求めます。



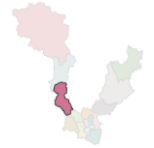
倉知地域のみなさんからの意見



- 倉知小学校とふれあいセンターの複合施設について、プールなど活用が低い施設等の有効利用を検討し、デザイン案を示して欲しい。
- 巾地域は子育て世代が増加しているが、公園が少ないという意見がある。安心して子育てができる環境を整えるため、公園整備の優先順位を高めて欲しい。
- 倉知小学校とふれあいセンター複合施設の建設予定地が活断層の上にあると考えている。大規模地震で甚大な被害ができ可能性もあり、ゾーニングの変更をして欲しい。具体的には、南西に複合施設、南東に駐車場、北東にグラウンドを配置することで解決できると考えます。
- 関市内の学校施設は老朽化が進んでおり、築30年以上が72%、40年以上が34%、50年以上が14%を占めている。このことは過去の学校への投資不足が原因であると考えます。地域の未来でもある子どもたちの教育に力を入れて欲しい。
- 関商工は卒業後に市外へ出てしまうケースが多く費用対効果という面では課題があると感じます。また、人口減少が進む中、将来にわたって関市だけで運営することは困難と考えます。そのため、組合立や相応の負担金を徴収するなど運営方法を工夫する必要があると考えます。
- 以前は地元出身の教員が多く、郷土教育に対する熱意があったように感じます。美濃市や郡上市のように地元の教員が多く地元で教鞭をとることが、「関市の子ども達は関市で育てる」ことにつながると考えます。
- 関市は早い時期から下水道事業に取り組み水洗化率が高い街として発展してきた、その処理施設をこの地域が受け入れており誇りに感じています。
- 水道料金が上がったのは残念に思うが、インフラの老朽化による整備費用の増加はやむを得ないと考えています。おいしい水が飲めるということはまちの自慢であるので、この水環境を大切にすまちづくりを進めて欲しいと考えます。また、この水をPRして欲しいと考えます。
- 学校複合化についての詳細情報が保護者に伝わっていない。オンラインでもいいので、意見を聞く機会を作してほしい。
- 消防団の人探しが大変。入った人がメリットを受けられるとよい。



武芸川地域のみなさんからの意見



- 人口減少対策として、地域の近くに工場を誘致して欲しい。誘致にあたっては隣接する市町と連携する必要があると考えます。
- 武芸川中学校のプールが利用されていない。生徒の安全面を考慮すると泳力向上を図る必要があり、市内の大きいプールを活用して水泳授業の時間の確保を検討する必要があると考えます。
- サルによる農作物への被害が大きい、有害鳥獣対策を強化して欲しい。
- 武芸川事務所とふるさと館の間の市道のセンターラインが消えている。交通事故防止のため、早急に対応を求めます。
- 桜ヶ丘小学校留守家庭教室は新しくなったが、利用児童80名に対しトイレが2つしかないため特に女子児童が困っています。また、洞戸についても収納場所がなく使い勝手が悪いです。今後これらの施設改修にあたっては、設計段階から運営側の意見を聞く必要があると感じます。
- 財産区では、10数年前から岐阜大学名誉教授の指導のもと、市とともに寺尾ヶ原を桜と紅葉の名所にし、年間を通じて観光客を呼び込み収益化を図る計画がありました。これらの経験から市は地域の活動に興味をもって、温かい目で見守り大局的な立場で協力して欲しいと思っています。





田原地域のみなさんからの意見

- 地域の人口を増やすためには、地域の魅力をアピールする必要があります。ふるさと農園、迫間不動、迫間山など地域のセールスポイントを地域の方と再確認し、市と一緒に考えていきたいと考えています。
- 小学生の子から給食時間が20分程度しかなく、子どもからも「時間が短すぎる」と聞いています。よく噛んで食べることは重要なので、給食時間を改善する必要があると考えます。
- 田原小学校では稲作体験を行っていますが、小学校だけでなく保育園や中学校など幅広い子どもたちが体験できる機会を設けることが農業への理解を深め、地域文化の継承につながると考えます。
- この地域で生まれ育ったので、地域で行われている伝統行事（山の講等）をずっと残して欲しいと思っています。
- 桜台は450世帯あるが、これまで3つあった集会場が1つになることが決定されているが、30人から40人くらいしか入れない集会施設が1つとなり地域活動への影響を心配しています。
- これから超高齢化社会を迎えるが、かつては活発であった老人クラブが、役員のなり手不足から活動が停滞しています。
- 高齢者が気軽に利用できる福祉バスのような移動手段の確保、地域委員会に高齢者対策として予算を配分するなど、地域が使いやすい形で補助金を交付して欲しいと考えます。
- 小中高校生の家庭には様々な支援がある一方で、大学生になると急に支援がなくなる。一番経済的に負担が大きい時期であるため支援策を検討いただきたい。



武儀・上之保地域のみなさんからの意見



- 上之保地区で県施工の護岸が進む一方で、川床のたい積土が多くなっています。護岸がある程度落ち着いたら支川も含め川床の土砂対策をお願いしたい。
- 現在土地改良を実施しているが、高齢化により農業の担い手がいいため、地元の理解を得るのに苦慮している。他地域の農業生産法人などの優良事例を参考に農業の担い手育成を進めていただきたい。
- 上之保小学校と武儀小学校が統合し、学校名が武儀小学校となることが決定されたが、上之保小学校の児童のことを考えると学校名の決定に配慮が必要ではなかったかと考えます。
- 旧武儀西小学校に通っていた児童が武儀小学校への統合により学校名が変わり、更に学校名が変更になると卒業までに3回も学校名が変わることになる。このような経緯を踏まえ、早期に子どもたちの気持ちを聞き取る必要があると考えます。
- 行政職員は、意見者の主張をよく聞いて、できないと回答するのみでなく、ここまではできる、こう変えたらできるなどという気持ちで対応することが、もっと意見が言いやすい環境につながると考えます。
- 両地域の人口推計を見ると将来この地域に学校が存在するか不安になります。武儀小学校と津保川中学校は近い位置にあるので、一貫校とし、できれば新しい校舎を建築して欲しい。
- 義務教育学校は武儀事務所をリニューアルして設置して欲しい。
武儀小と津保川中の別施設を一つの義務教育学校としてもいいと思う。
- 旧武儀西小学校の廃校から4年が経過しています。これから学校の統廃合が進む中で、廃校となった校舎の利用計画を立てる必要があると思います。
- 地域の中にガソリンスタンドがなくなろうとしています。例えば行政がガソリンスタンドを運営するなど市のスタンスを伺いたい。



安桜・旭ヶ丘地域のみなさんからの意見



- 高齢者よりも、将来を担う若い世代や子どもたちへの予算配分を重点的に行うべきと考えます。
- 他の市町では、外国人児童・生徒が増加し、学校運営に課題が生じていると聞いている。教育現場での外国人対策を明確にする必要があると感じます。
- 特に女性については、都会の大学に進学し、そこから就職し、地元には帰ってこない傾向にあると聞きます。女性が関市に戻ってきてくれるようなことを考え、政策を打っていけば人口増もつなぐと考えます。
- 太陽光発電施設について、山を削ったり、田を埋め立てるケースも見受けられます。許認可の際に市が良し悪しを判断できるようにして欲しい。
- 本年7月に3回あった大雨により、バロー緑ヶ丘店の南側の道路が冠水し、住宅への浸水も発生した。気候変動により異常気象の多発が予測される中、長期的なビジョンで下流からの水路拡幅を要望します。
- 将来的には周辺の市町も人口的にも財政的にも課題が生じると考えます。例えば美濃市や郡上市などと広域連携して課題を解決できるような仕組みについて次期計画では示して欲しい。
- 現在は高齢人口が多いため予算を多く使っているように見えるが、例えば高齢者が元気でいられるような投資こそが若者世代を助け、将来の子ども達を助けることにつながると考えます。
- 高齢者の外出機会を増やすには、バスよりもタクシーの方が便利であるという意見を聞いている。本年度実施した回数券でもバス利用券かタクシー利用券のいずれかを選択できるとよいと考えます。
- 旭ヶ丘小学校の児童数が減少し、活気が失われているように感じます。学校選択制により更に児童数の減少が危惧されますが、子ども達が学校を選びやすいように、また、選んだ結果に満足できるようサポートをして欲しい。
- 旭ヶ丘小学校区と自治会の範囲が複雑になっているため、まちづくり協議会の情報が一部の家庭に届かない問題があります。協議会が実施する行事へ参加を希望する児童に対して情報を届けることにやりづらさを感じています。
- 若者が地元に戻ってこないのは、魅力的な仕事がないことが要因であると考えます。
- 地域学校協働活動は、地域委員会のやるべきことであると考えます。地域学校協働活動にPTAも参加し地域委員会と連携して活動することが望ましいと考えます。



第6次総合計画は… どんなかたち



当日の時間配分

30分程度 第5次総合計画進捗報告と人口推計の説明

30分程度 地域みなさまとの意見交換